

尼崎小田高等学校

〒660-0802 兵庫県尼崎市長洲中通2-17-46
TEL 06-6488-5335 FAX 06-6488-5337Design 株式会社 サラト <http://www.salat.co.jp>

ご挨拶

同窓会長 鍋島 勝吾

同窓生の皆様、こんにちは。

皆様におかれましては、ご健勝のことと、お喜び申し上げます。

私は同窓会長の鍋島と申します、どうぞよろしくお願い致します。

今この原稿を書いているのは2016年8月末期ですので会報の発行時点とは「ずれ」がありますが、そのつもりでお読みください、幸いです。

私は小田高校を昭和51年すなわち1976年に卒業致しました。今年でちょうど卒業40周年にあたります。卒業してからの年月の方が、遙かに長い期間となり、日本人の平均寿命から行けば、あと30年程度の人生になってきたとも思えるし、まだ30年もあるとも思えるような年代になってまいりました。

いろいろと卒業以来のことが思い出されますが、この40年で私事以外の事件としては、まず、阪神淡路大震災が挙げられます。あの当時は本校も避難所となって、たくさんの方々が避難されていました。あとやはり、東日本大震災とそれに続く、福島第一原発事故や、今年だけでも、熊本県を中心にした地震や、今現在起こっている、台風による洪水被害など、改めて考えてみても、やはり日本という国は、災害の多い国と言わざるを得ません。その中で、歴史的に日本人は、この災害列島ともいえる国に1万年以上昔から住み続けて、人間の営みを為してまいりました。ということは、この国には、災害に立ち向かってでも、住み続けていくだけの、自然の美しさや、文化的な素晴らしさが在るのでしょう。現に今も、沢山の外国の方が日本を訪れ、その魅力について語られていることを思うと、日本という国を誇りに思っています。

そんな中、わが小田高校も、普通科、国際探求学科、サイエンスリサーチ科という3種の学科により、グローバルな位置の教育を

するようになり、さらに今年卒業しました、42期生の入学時から、普通科に看護医療・健康類型が設けられて、これからの少子化や、高齢化時代にも即した、教育が成されるようになりました。

更に、2015年から兵庫県は従来の16学区から5学区へと再編されました。具体的には従来、尼崎学区だったものが、阪神地区と丹有地区が一つになり、兵庫第二学区となりました。このことにより、他市の、学力も魅力も違う学校との競争が激しくなり、志願していただける為にはより魅力のある教育や、学校設備が必要になってまいりました。

小田高校は幸か不幸か長洲という砂洲の上に建っている為、設立時に基礎工事をしっかりされていたので、県内でも耐震工事が後回しにされ、それに伴うエアコン設置工事も長らくされていませんでした。しかしそれも、一部を残して昨年度内に終わり、エアコンの設置も完了致しました。まだまだ、設備的には最新の学校並みとは申せませんが、なにより、校長先生(以前、教頭をされていた、中谷先生が、校長として戻ってこられました)をはじめとする教員の方々の熱心さにより、設備の不利を跳ね返すような、学校となっていくことでしょう。

私が本校を卒業した時、ITと言うものは無く、情報、通信といえば、電話、テレビといったものしか有りませんでした。コンピュータと言えば、会社みの設備で、またフロアを取っていたものが、1990年代よりこちら、特にこの10年での、パソコンの時代、また携帯電話からのスマホという時代は、昭和30年代生まれの私としては、目まぐるしく時が流れて行く感が致します。

ちなみに、私が卒業しました、小学校は無くなり、中学校も無くなるうとしています。それでもなお、小田高校は、毎年、新しい生徒とともに、また新たな教育を担って行き、根底に流れる、Plain living and high thinkingと共に、50年100年と、これからの時代の確かなる指針となり得る教育機関として、卒業生の皆様と共に歩んでいくことと信じております。

だらだらと書き連ねましたが、何かと読みづらい文章で申し訳ございません。

最後に、皆様のご健康とご発展を祈願致しまして、この文章の書き止めとさせていただきます。



同窓会報発行に寄せて

校長 中谷 安宏

4月から本校の校長として着任しました中谷安宏です。どうぞよろしくお願い申し上げます。2年前まで本校で教頭を3年間しておりましたので、本校での勤務は4年目になります。

同窓会の皆様には、平素より母校の教育に関して温かいご支援・ご協力を賜り、ありがとうございます。特に、平成26年度からの耐震工事の2年間、グラウンドに仮設校舎が建ち運動部の活動が制限されたことから、練習場所を確保するためベイコム陸上競技場や野球場等の使用料を同窓会から支援いただいたことに、深く感謝申し上げます。お陰様で耐震工事は無事終わり、現在はグラウンドを全面使って思う存分活動ができています。

さて、母校の現状を報告させていただきます。創立45年目を迎えても、本校の教育の目標「Plain Living High Thinking」（生活は簡素に、理想は高く）の精神は生徒達の中に生きており、端正な服装や礼儀正しさ・授業や行事に熱心に取り組むといった「小田高生」のよき伝統は、しっかりと受け継がれています。平成27年度からそれまでの尼崎学区から阪神・丹有学区に学区が再編されるなど、大きな制度変更がなされる中でも、本校は地域の中で「落ち着いて勉強できる学校」として確かな評価を受けています。

また、特色ある教育の面でも着実に実績を上げています。平成15年度にサイエンスリサーチ科を、平成24年度に国際探求学科を設置しましたが、理数と国際に関する専門学科の両方設置は県下では本校だけです。また、平成17年度から指定されている文科省のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）は、本年度でⅢ期（Ⅰ期5年）の2年目です。12年連続で指定されているのも、県下では本校のみです。今年はロシアにおける国際会議でも発表しました。SSHに取り組む中で現在全校的に行っている探求活動（小田高リサーチ）は、平成34年度からの次期学習指導要領のキーワードとしてよく言われる「アクティブ・ラーニン

グ」を先行実施している先進的な取り組みです。県立高校では2番目に多い3人の常勤のALT（外国語指導助手）による充実した英語教育も大きな特色で、プレゼンテーションやディベート等を通して英語での発信力を育成しています。

さらに平成25年度には、普通科に「看護医療・健康類型」を設置し特色選抜での募集を始めました。今春には1期生が卒業し、看護・医療・スポーツ系の大学や専門学校等に進みました。入試では倍率が約2倍になるなど希望者が多く、市外からも多く受検します。

進路でも着実に結果を残しています。今春の卒業生は関関同立の合格者が前年に比べて大きく増加しました。教員も生徒の学力向上のために、授業改善等に取り組んでいます。

学校行事では、今年から小田高祭は2日目をアルカニックホールで実施しました。恒例の3年生の合唱コンクールはアルカニックホールで行い、素晴らしい歌声にホールが一体となりました。また、体育大会はかつて陸上競技場で行っていましたが、現在は学校で行っています。多くの保護者が見に来られ、大変盛り上がる行事になっています。特に、2・3年生が行う演技「団」はすばらしく、新たな小田高の伝統になりつつあります。

部活動も活発に活動しています。今年度は陸上競技部から3年生男女2名が近畿総体に出場し、2年生の男子が近畿ユース選手権で3位になりました。昨年度は、書道部と将棋部が全国総文に出場しました。全国大会や近畿大会には出場できませんでしたが、今年度はサッカー部と男子バスケットボール部、男子ソフトテニス部が県総体でベスト32まで勝ち残りました。

ただ、不安な点がないわけではありません。今後少子化による中学校卒業者の減少という大きな問題があります。本校に最も近い小田南中学校と若草中学校は今春統合し、小田中学校となりました。5年後の創立50周年に向けて、今後も確かな地位を確保できるよう努力していきたいと考えています。今後とも、同窓会員の皆様のご指導・ご支援をよろしくお願い申し上げます。皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念し、挨拶とさせていただきます。



同窓会報に寄せて

教頭 池上 隆志

同窓会のみなさまには、本校の教育活動に格別のご理解・ご協力を賜り、ありがとうございます。私は、本年4月に着任させていただきました教頭の池上です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

私が本校に着任して、生徒たちの気持ちのよい挨拶、そして、若さあふれる行動力に出会うことができ、たいへん嬉しく思いました。本校も開校45年目を迎えておりますが、創設以来のよい伝統が連綿と受け継がれていることを感じます。

本校は、県内の公立高校では、唯一、理数（サイエンスリサーチ科）と国際（国際探求学科）、に関する専門学科両方を設置しています。また、特色類型として「看護医療・健康類型」を設置しており、生徒や保護者のニーズに応えながら、将来、社会に貢献できる人材の育成に努めているところです。

本校の近況報告をいくつかさせていただきます。

ご承知のように本校は平成17年度から文部科学省のスー

パー・サイエンス・ハイスクールに3期（15年間）連続で指定されており、全校的に探求活動（小田高リサーチ）に取り組んでいます。その中で、3年生の林 由真さんの研究「尼崎の海から瀬戸内海、そして世界へ ～高校生環境ネットワークづくり～」をロシア連邦サンクトペテルブルク市で開催された第11回世界閉鎖性海域環境保全会議（EMEC S11）青少年環境教育交流セッションで日本の高校生代表として発表する機会をいただきました。これは、尼崎港での環境調査を発展させ、瀬戸内地域の高校生と連携した高校生フォーラムでの取組と共同研究で行ったマイクロプラスチックが環境に及ぼす影響等について発表したもので、世界中からの参加者15名中3名に与えられたベストポスター賞も受賞しています。

本校では、毎年夏季休業中に「オーストラリア研修」を実施しています。本年度は、8月1日（月）～10日（水）の10日間で実施しました。行き先は、オーストラリアのケアンズで34名の生徒が参加しました。研修内容は、ホームステイ、現地校

での授業への参加や現地高校生との交流、文化・自然科学プログラム等、充実したプログラムでした。参加した生徒たちは、異文化の中で様々なことを学び、人間としても大きく成長してくれました。

また、本校では、昨年度から看護医療・健康類型の生徒がボランティアとして東日本大震災被災地を訪問しています。今年度は3名の生徒が8月2日(火)～4日(木)の3日間、訪問しました。ボランティア活動や現地の方々との交流を通じて、多くの収穫のある経験となりました。来年3月にも訪問を計画しており、取組を継続していきたいと考えています。なお、本校

では「県立学校環境充実応援プロジェクト」による寄附への協力をお願いしていますが、本校の寄附による事業内容を「地域貢献や災害支援等のボランティア支援」に変更しています。ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

これからも生徒や保護者の夢を実現させる学校、社会に貢献する人材を育成する学校、地域に愛され地域の中心となる学校を目指して、努力して参りたいと考えております。今後とも、同窓会のみなさまのご指導・ご支援をよろしくお願いいたします。みなさまのご健勝と益々のご活躍をお祈り申し上げまして、挨拶とさせていただきます。

サイエンスリサーチ科

サイエンスリサーチ科では、①自然科学の幅広い知識と、思考力・判断力 ②自然を探究する態度 ③日本語のみならず、英語でも情報を発信する力を身につけることを教育目標としています。また、文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール(SSH)事業の研究指定を受け、「持続可能社会」の構築を実践する科学技術系人材の育成を目指し、様々な実習や活動を行っています。



・京都大学フィールド科学教育研究センター 瀬戸臨海実験所での臨海実習



・瀬戸内海の環境を考える高校生フォーラム



・SSH生徒研究発表会(小田高リサーチ生徒発表会)



・高校生による算数・理科の授業



国際探求学科

国際探求学科になり、今年入学した45回生で5年目となりました。英語コース、CCコースと名前を変えながらも、「地球規模の問題を考え、行動する人材を育てる」という目標をもって、授業や行事に取り組んできました。1年生では有名な英語スピーチの暗唱大会、「情報」の授業での英語プレゼンテーションの発表練習。2年生で校内英語スピーチ大会、ポスタープレゼンテーション、英語ディベートに取り組み、優秀生徒は校外

の大会へ出場しています。昨年度は阪神スピーチコンテストで「審査員特別賞」を受賞。高校対抗ディベート大会にはクラス全員が選手として参加し、兵庫県英語ディベート大会では、30校ほどの出場高校のなかで昨年は3位などと常に上位に入っており頑張っています。それらの取り組みは、大学入試に大いに役立ち、国公立大学、関関同立など目標とする大学へ進学を果たす生徒が年ごとに増えています。



英語ディベート大会(2年)



「情報の科学」の授業風景(1年)



オーストラリア研修(2年希望者)

普通科 看護医療・健康類型の紹介

平成25年4月に普通科に「看護医療・健康類型」が設置されました。将来の夢が看護師や理学療法士、作業療法士、介護福祉士などを目指す看護医療・福祉系、スポーツトレーナーや体育教員、スポーツ施設での指導員、スポーツのマネジメントなどを目指す健康・スポーツ系の生徒を受け入れ、高校卒業後に、大学や専門学校での専門教育にスムーズに移行できるように「非認知能力」（社会で活躍できるための土台）を育成する目的で立ち上げたものです。今年は立ち上げて早4年目を迎え、1期生は今年の3月に卒業し、ほぼ全員が自分の夢の実現のために希望していた上級学校に進学を果たしました。

教育内容ですが、1年生では、特設の授業はなく、月に1回放課後に集会を開催し、医療、スポーツ系の仕事の内容、それらの仕事に就くためにはどういった能力が必要なのかなどプロの方から聞かせる会や病院やスポーツ施設の見学や体験などを実施しています。2年生では、看護医療系は「看護医療基礎」を、健康スポーツ系は「スポーツ総合演習」の授業を週に2時間受け、それと関連のある調査研究報告活動として「探求基礎」を2時間行っています。この授業と活動を通して、生徒は大きく成長しているのが実感されます。調査研究報告活動は毎年1月終わりに、外部で報告会を開催し、学校外からも多くの方が見学にこられ、好評の声を聞いています。

1, 2年生では、施設体験やボランティア活動、災害募金活動など自主的な取り組みも多く、生徒の自主性と失敗体験・成功体験を積み重ね、自己肯定感を育む場になっています。看護医療系は東北の被災地訪問、健康スポーツ系は東京の国立スポーツ科学センター、ナショナルトレーニングセンターへの訪問が1年間の総括の行事となっています。3年生では、「看護医療総合」「ボランティア実践」「栄養学基礎」「スポーツ医療」

「スポーツマネジメント」「生涯スポーツ」の6つから2科目を選択し、学びます。

以下に1期生の卒業生の声を掲載します。

- なぜ看護師になりたいか、どんな看護師になりたいか、それを深く考える機会になり、理想とかけ離れ過ぎて、看護師になることをあきらめようと思った時もあったけど、結果その葛藤のおかげでなりたいという夢も深まったし、自分を見つめ直す良い機会だった。
- 看護体験など他の高校ではできないようなことができた。また、看護師の方や看護学生の方、病気と闘っている方などいろいろな方のお話を聞くことができ、自分が看護師になると決意をさらに強く持てた。
- 看護やスポーツ系の分野の知識だけでなく人としての常識や当たり前のことが、当たり前に行えるように提出期限などの大切さを教えていただいた。
- スポーツの観点から医療について学べたのでおもしろかった。スポーツ選択者と関わる機会も増えて、刺激になった。違う観点から見て、看護の授業で習ったことと結びつき、医療職の幅広さを実感でき、選択して良かったと思う。
- これまで考えたことなかった問題に触れてみて、他人事ではなく、自分のこととして問題をとらえられるようになった。発表会を通して、人前で喋ること、人に考えを伝えることの難しさを学べたのでよかった。



平成28年4月 4期生歓迎会の様子

小田高トピックス Topics

『国際表彰されました』

43回生 サイエンスリサーチ科 3年 林 由真さんが本校の課題研究の成果を評価され、28年度に開催された『第11回 世界閉鎖性海域環境保全会議 青少年セッション』に日本代表として、参加され『ベストポスター賞』を受賞されました。

耐震工事終了

平成26年2月より本校舎の耐震工事が着工され、無事に平成26年6月に終了しました。

この間、同窓会としては仮設校舎がグラウンドに建設された為、グラウンド使用の部活動が十分に活動できないため、外部施設の使用料として100万円補助いたしました。



恩師を訪ねて

今回の「恩師を訪ねて」は、阪神大震災の翌年の1996年4月から2016年3月までの20年間、理科教員としてお世話になった田中俊雄先生を訪ねました。この20年間に、先生には生物や課題研究の授業はもちろんのこと、学年主任やサイエンスリサーチ科長、進路指導部、総務部、部活動などでご尽力いただき、本校の発展に多大な貢献をいただきました。先生にお世話になった卒業生は少なくありません。

田中 俊雄 先生



現在、先生はどのようにお過ごしされているのですか？

今年の3月に入学試験を受け、4月から、兵庫県立大学大学院環境人間学研究科共生博物部門に入学しました。私の研究室は兵庫県立人と自然の博物館（三田市）にあり、ここで授業を受けるとともに、最近興味を持ち始めた地球科学についての研究もしています。また、兵庫県立川西緑台高等学校で非常勤講師として、週に16時間相当の授業も担当しています。1年生の生物基礎、3年生の生物や化学基礎を教えています。

ご退職後も『生涯勉強』という前向きな姿勢で頑張っておられるのですか？

小田高の前任校では、自分の興味・関心のあることについて実験・観察することができ、これがバックボーンになったのは確かです。そして、小田高では、さらに多方面にわたっているいろいろな実験・観察を生徒とすることができました。ただ、課題研究については1年単位で成果を出さなくてはいけないという側面もあり、もっとじっくりと取り組んでみたいということもあって、兵庫県立大学大学院への進学を決意しました。

7年前に先生はフルマラソンを完走されましたね？

25回生のスキー修学旅行ではインフルエンザが大流行してスキーどころではなく、生徒を病院に連れていくために、夜中まで駆け回ったことがありました。この経験から、2～3日徹夜できるくらいの体力の必要性を痛感し、これをきっかけに体を鍛えようと思い始めました。最初は2kmも走れないような情けない状態で、マラソンなんていうことは別世界のことだったのですが、少しずつ距離を伸ばし、10年前にハーフマラソンに出してみました。そして、7年前の58歳の時に篠山ABCマラソン大会で、フルマラソ

ンを完走することができました。以後、毎年何らかの大会に出るようにしています。練習時間は十分にとれませんが、涼しい時期には、週に1回は、武庫川沿いの宝塚市役所から武庫川団地までの往復を、ゆっくりと走るようにしてきました。ただ、今は足首など痛いところもあるので、あまり無理はできません。

小田高生の印象はいかがですか？

一人ひとりがそれぞれ抱えている問題があるにもかかわらず、どの回生の生徒からも、勉強でも部活動でも課題研究でも、何かをやろうとする前向きな意欲と姿勢が感じられました。小田高生のイメージは『凜』です。この4月の離任式でも、『凜として』ということをお別れの挨拶として話させていただきました。在校生も卒業生も、さらに『凜として』頑張ってもらいたいと思います。

小田高の思い出をお話してください。

私が学年主任をした28回生の3年間で特に思い出深いです。修学旅行を無事に終えることができたときはほっとしました。また、この回生の修学旅行に限らず、生徒たちとの学校行事や平常の学校生活など、どれも鮮明に覚えています。悲しいこともありましたが、小田高生は何事にも熱心で、先生方も熱意あふれる方々が多かったです。私にとって小田高での生活は、教員としての生活のみならず、人生の貴重な財産となっています。

今日はお忙しいところ、本当にありがとうございました。お体に気をつけて、これからも頑張ってください。

こちらこそ、遠いところまでわざわざ足を運んでくださり、ありがとうございました。小田高を離れましたが、小田高を忘れることはありません。

部活動報告(近畿大会以上)

平成26年度

第23回	国際高校生選抜書展「書の甲子園」	書道部	入選	片川 義貴
		書道部	入選	蛭原 綾
		書道部	入選	毛利友希乃
		書道部	入選	清水 茜
第34回	近畿高等学校総合文化祭 福井大会	将棋部門		
		将棋部	出場	古賀希海子

平成27年度

第24回	全国高等学校文化連盟将棋新人大会(熊本大会)	将棋部	出場	古賀希海子
第39回	全国高等学校総合文化祭 滋賀大会	書道部門		
		書道部	出場	片川 義貴
第16回	「宇野雪村賞」全国書道展 新温泉町教育長賞	書道部	出場	田崎 渚

第24回 国際高校生選抜書展「書の甲子園」

書道部	秀作賞	清水 茜
書道部	入選	片川 義貴
書道部	入選	吉田すみれ

平成28年度

第11回	世界閉鎖性海域環境保全会議(ロシア大会)	青少年環境教育交流セッション		
		サイエンスリサーチ科	日本代表	林 由真
平成28年度	全国高等学校総合体育大会 近畿地区予選	400mハードル	陸上競技部	出場 細田 一成
		走幅跳	陸上競技部	出場 田中日向子
第49回	近畿高等学校ユース陸上競技 対校選手権大会	800m	陸上競技部	3位 山本 浩暉
第10回	日本ユース陸上競技選手権大会	800m	陸上競技部	出場 山本 浩暉

各部活動の主な戦績・活動状況

運動部

硬式野球

25年度選手権大会県大会3回戦進出、25年度阪神丹有地区1年生大会準優勝
26年度春季阪神地区大会Dブロック2位、26年度春季兵庫県大会2回戦進出
26年度秋季阪神地区大会Bブロック1位(秋季兵庫県大会第1代表)
※尼崎市内の学校で唯一【春季・秋季兵庫県大会連続出場】
26年度秋季兵庫県大会準々決勝進出(BEST8)、兵庫県選抜チームに推薦(1名)され
台湾選抜チームと対戦(11月22日) 27年度春季阪神地区大会第1シード
全国審判講習会モデル校(甲子園球場でプレイ)
28年度秋季阪神地区大会Bブロック1位(秋季兵庫県大会第1代表)

卓球(男子)

25年度阪神総体学校対抗8位、総体県大会BEST32、新人戦阪神BEST4、
阪神選手権3位、市内大会優勝多数

卓球(女子)

25年度阪神総体学校対抗3位、総体県大会BEST32、新人選抜BEST8、
阪神選手権優勝、24年度新人戦BEST16、市内大会優勝多数

バスケットボール(男子)

24年度ウィンターカップ阪神地区大会3位、県大会出場。県新人戦阪神地区BEST8

バスケットボール(女子)

24年度全国高等学校選抜優勝大会兵庫県予選(ウィンターカップ)出場

ハンドボール(男子)

27年度秋季阪神リーグ3部1位。

ハンドボール(女子)

県総体、県大会、春・秋季阪神リーグ戦での勝利を目指して頑張っています。

バレーボール(男子)

県総体、選手権阪神予選、秋季阪神リーグ戦目指し頑張っています。(現在は3部)

バレーボール(女子)

春・秋阪神リーグ戦 勝ち越しを目指して頑張っています。

ソフトボール

27年度県女子ソフトボール総合体育大会出場。

サッカー

27年度阪神選手権予選グループリーグ1位、上位トーナメント1位。県大会出場。

ソフトテニス(男子)

24年度県総体阪神予選個人戦準優勝、県総体個人戦第9位(近畿大会出場)。
27年度尼崎市新人戦個人優勝
28年度県総体阪神予選団体戦ベスト8、個人第3位

ソフトテニス(女子)

27年度9月県新人阪神予選団体戦BEST8(県大会出場)

陸上競技

27年度 兵庫県高等学校総合体育大会 男子400mH、女子100m、女子走幅跳
兵庫県陸上競技選手権 女子走幅跳第8位
27年度 兵庫県高体連陸上競技部強化指定選手による強化合宿 女子走幅跳
27年度 兵庫県高等学校ユース陸上競技対校選手権
男子400mH第5位、女子100m第7位
28年度 全国高等学校ユース陸上競技 男子800m 出場
28年度 近畿高等学校ユース陸上競技 男子800m 3位
28年度 近畿地区高等学校総合体育大会 男子400mH、女子走り幅跳び出場
28年度 兵庫県高等学校総合体育大会 男子400mH 2位、女子走り幅跳び 5位
28年度 兵庫県高等学校陸上競技対校選手権阪神地区大会
男子400mH 優勝(大会新)、男子1500m 第4位、女子100m 第2位
女子3000m 第7位、女子走幅跳 第4位、女子400mH 第7位
男子4×400mR 第8位、女子4×400mR 第7位

剣道

27年度県総体男子・女子個人、団体出場。同年県新人大会女子個人ベスト16、男子
団体出場。26年度県新人大会阪神地区予選男子個人3位、同年尼崎市高校総体
男子団体優勝。

柔道

24年度県総体男子66・73・81kg級県大会4名出場。市内大会男子66・73kg級優勝。
25年度県総体男子団体出場。同大会81kg級出場。

バントフリンク

主な発表の場は尼崎市吹奏楽連盟の定期演奏会や体育大会・文化祭など

水泳

27年度 県ジュニア選手権 男子100mバタフライ第7位、
男子尼小田チーム400mメドレーリレー第14位
28年度 兵庫県高等学校水泳競技対校選手権阪神地区大会
男子400m個人メドレー3位 女子400mメドレー3位

文化部

放送

25年度近畿高校総合文化祭ビデオメッセージ部門出品(奨励)、同年県総文奨励賞。
26年度NHK杯放送コンクール兵庫県大会テレビドラマ・同ドキュメント奨励賞。
27年度同大会ラジオドラマ部門奨励賞、県総文テレビドキュメント部門奨励賞。
28年度NHK杯全国高校放送コンテスト兵庫県大会 佳作(アナウンス部門)

写真

28年度兵庫県高等学校写真連盟春季写真コンテスト 入選
文化祭での作品展示、各種コンクールに作品出品をしています。

茶華道

高校文化連盟の行事・花と緑のフェスティバル・成人式での呈茶活動に参加。

美術

26年度兵庫県高等学校総合文化祭美術工芸部門展に出品。その他文化祭や地域の
イベントに出品しています。

ESS

English Newsletterを発行しています。部室では英語で活動しています。

吹奏楽

26年度兵庫県吹奏楽コンクール東阪神地区大会銀賞

科学研究

- ・物理班 少人数ですが文化祭や対外行事に向けてコツコツと活動しています。
- ・天文班 太陽、月、惑星などの観測を随時しています。プラネタリウムで星空の学習も。
- ・化学班 文化祭で様々な実験を行っています。また、尼崎市のイベントで体験実験
を行い、子供達へ化学に興味を持ってもらうように取り組んでいます。
- ・生物班 サイエンスフェアin兵庫での展示に向けて活動しています。

家庭科研究

毎週月・水曜日の放課後活動。文化祭では伝統のクッキーとハヤシライス販売
しています。夏休みには近隣の幼稚園と交流しています。

漫画研究

毎週月・水・金の放課後活動。文化祭ではイラスト集を販売しています。

アコースティックギター

エレキではなくアコースティックのギターで、好きな曲の練習をしています。歌
うよりもギターテクニックの向上を目指しています。26年度3月小田公民館での
ピースメモリアルコンサートに参加しました。

演劇

6月の小田高祭、ピッコロホールでの夏の講習会、11月の阪神大会、
1月の尼崎市演劇祭、ピッコロホールでの3月春期発表会に参加。
26年度11月の阪神大会で優秀賞を受賞しました。

書道

27年度第24回国際高校生選抜書展「書の甲子園」1名秀作賞3名入選
27年度第15回『宇野雪村賞』全国書道展新温泉町長賞、25年度第37回全国高等
学校総合文化祭長崎大会出品、27年度第39回全国高等学校総合文化祭滋賀大会出品

将棋

26・27年度第42・43回兵庫県高校将棋選手権大会男子B級個人戦でベスト8
26年度第27回兵庫県高等学校竜王戦 男子B級個人戦で2名がベスト8
27年度第34回近畿高等学校総合文化祭(福井大会) 兵庫県代表で出場
27年度第24回全国高等学校文化連盟将棋新人大会(熊本大会) 兵庫県代表で出場

進路状況

【現役生の合格先】

大学	H28	H27	H26
三重大		1	
滋賀大		1	
京都教育大	1		1
大阪教育大			2
神戸大		1	1
奈良女子大	1		
奈良教育大		1	
和歌山大	1		
鳥取大			1
島根大			2
岡山大		1	
広島大	1	2	1
徳島大			1
香川大			1
愛媛大	2		
高知大	1	2	
宮崎大		1	
国際教養大	1		
首都大学東京	1		
滋賀県立大	1		
京都府立大		1	1
大阪市立大		1	1
大阪府立大	1	1	1
兵庫県立大	4	4	5
神戸市外語大	1		
岡山県立大		1	
高知工科大	1	1	
北九州市立大		1	1
北海道情報大		1	
明海大		1	
大東文化大	1		

大学	H28	H27	H26
法政大		1	
早稲田大		1	
創価大			2
東京都市大			2
日本薬科大			1
横浜薬科大			1
福井工業大	1		
金沢工業大	2	3	
修文大	1		
長浜バイオ大	3		
びわこ成蹊スポーツ大		2	
大谷大	3	4	1
京都精華大	3	4	2
京都橘大		1	
京都外大	3	6	1
京都学園大	2	9	1
京都産業大		19	6
京都女子大	2		1
同志社大	9	5	8
同志社女子大	1		
花園大		2	
明治国際医療大		1	
佛教大	4	5	2
立命館大	10	7	9
龍谷大	10	21	12
藍野大		1	2
追手門学院大	16	12	15
大阪大谷大		4	2
大阪学院大	6	12	4
大阪河崎ハビリテーション大		1	
大阪青山大	2		

大学	H28	H27	H26
大阪経大	26	15	16
大阪経済法科大	4	3	6
大阪芸大	1	1	
大阪工大	17	16	10
大阪国際大	2	2	1
大阪産業大	23	27	9
大阪商大	2	4	
大阪樟蔭女子大	1	4	
大阪女学院大		4	
大阪電気通信大	4	5	3
大阪人間科学大		1	1
大和大	2	1	3
大阪保健医療大			1
大阪成蹊大	1	1	1
大阪薬大	1		1
関西大	34	20	29
関西外大	15	11	12
関西福祉科学大	3		
大阪体育大		1	
近畿大	51	45	52
四天王寺大	2	1	3
四條畷学園大		1	
摂南大	57	2	
相愛大	1		1
大成学院大		1	2
阪南大	1	3	
梅花女子大	3	4	
桃山学院大	1	8	6
森ノ宮医療大	1		
千里金蘭大	1		2
大手前大	3		4

大学	H28	H27	H26
関西学院大	16	11	13
関西国際大	2		3
関西福祉大			1
関西看護医療大	1		1
甲子園大	2		3
甲南大	36	28	35
甲南女子大	5	5	1
神戸学院大	20	29	23
神戸国際大	1		
神戸芸術工科大	3	1	2
神戸女学院大		3	
神戸女子大	1	1	15
神戸松蔭女子学院大	4	9	1
神戸親和女子大		1	3
神戸海星女子大	1		
神戸常盤大	1		2
神戸薬科大	1		
園田学園女子大	9	4	4
宝塚大			1
姫路獨協大	3	2	1
兵庫医療大	9	1	
武庫川女子大	6	8	5
流通科学大		1	2
姫路大	1		
帝塚山大		2	2
天理大			1
奈良大			1
幾中央大		1	
岡山理科大	1		
広島工業大	1		

就職・短期大学・看護学校・専門学校・各種学校

就職

兵庫県警 陸上自衛隊 神戸市役所 神戸市消防局 尼崎市役所 大阪市交通局 新日鐵住金(株)尼崎製造所
 高岡食品工業(株) (株)住友精密工業 尼崎金属工業協業組合 (株)邦木材木店 大昭工業(株) (株)濱本ジェネラルコーポレーション
 社会福祉法人・きらくえん 王子イメージングメディア(株) (株)ROBSONST. (株)ワールドストアパートナーズ
 (株)ファイブ・フォックス 淀川変圧器(株) (株)神崎高級工機製作所 (株)ヤマシタワークス 神鋼建材工業(株) (株)ツインフーズ
 (株)竹園旅館 (株)クー

短期大学

関西外大短大部 聖和大短大部 産業技術短大 武庫川女子大短大部 大阪成蹊短大 神戸女子短大 園田学園女子大短大部
 大阪キリスト短大 大阪女学院短大 創価女子短大 大手前短大 大阪夕陽丘学園短大

医療系・看護学校

尼崎健康医療事業財団看護 西宮市医師会看護 関西労災看護 大阪済生会中津看護 平成淡路看護 愛仁会看護助産
 関西看護 大阪済生会野江看護 大阪医療看護 阪奈中央看護 美原看護 大阪医専看護 南大阪看護 神戸看護
 神戸中央病院付属看護 仁心看護(鹿児島) 大阪病院協会看護 小阪病院看護 宝塚市立看護 大阪警察病院看護
 大阪労災看護専門 行岡医学技術専門 順正高等看護 大阪府病院協会看護 近畿大学附属看護 大阪府医師会看護
 大阪医療センター附属看護 豊中看護 相生市看護 神戸総合医療福祉専門 大阪医療技術学園専門 平成医療学園専門
 大阪医療秘書福祉専門 国際代替医療専門 日本歯科学院専門 東洋医療専門 履正社医療スポーツ専門 関西医科専門
 日本大学歯学部附属歯科衛生士専門 新大阪歯科衛生士専門 ハーベスト医療福祉専門 阪奈リハビリテーション専門

専門学校・各種学校

神戸市立工業高等専門学校 三幸カレッジ 大原法律公務員専門学校 ノーザンファーム アミューズメントメディア総合学院
 総合学園ヒューマンアカデミー 代々木アニメーション学院

人事異動一覧

平成26年～平成28年度

○転出				
職名	氏名	新所属	教科	
校長	生駒勝信	退職		
教頭	中谷安広	県立神戸工業高校 校長		
教頭	長谷部元祥	県立川西北陵高校		
教頭	岩浅泰至	退職		
主幹教諭	徳山学	県立宝塚東高校 主幹教諭	保健体育	
教諭	水上勉	退職	数 学	
教諭	長尾靖	県立川西明峰高校	英 語	
教諭	西岡幸治	県立鳴尾高校	地歴公民	
教諭	杉木勝彦	県立神戸高校	理 科	
教諭	坂口あつ子	県立西宮香風高校	保健体育	
教諭	竹内京子	尼崎市立尼崎高校	家 庭	
教諭	西尾正仁	県立阪神昆陽高校	地歴公民	
教諭	宗得明美	県立鳴尾高校	英 語	
教諭	西村健一	県立尼崎稲園高校	理 科	
教諭	横内靖幸	県立川西北陵高校	英 語	
教諭	大崎みづほ	県立湊川高校	地歴公民	
教諭	大田真希	県立宝塚高校	数 学	
教諭	高橋慶一	尼崎市立尼崎高校	保健体育	
教諭	火縄智也	県立神崎工業高校	数 学	
教諭	北村有望	退職	理 科	
教諭	小林哲	兵教大 派遣	英 語	
事務長	篠原尚子	県立尼崎高校		
課長補佐	田尻和正	県立尼崎工業高校		
事務職員	稲谷岬	県立有馬高校		
事務職員	渋谷雅子	退職		

○転入				
職名	氏名	旧所属ほか	教科	
校長	中谷安宏	県立神戸工業高校 校長		
教頭	岩浅泰至	県立こやの里特別支援		
教頭	長谷部元祥	尼崎市立尼崎高校		
教頭	愛川弘市	伊丹市立高校		
教頭	池上隆志	県立尼崎稲園高校 教頭		
主幹教諭	瀧野恵子	県立川西明峰高校	英 語	
主幹教諭	豊田芳和	県立西宮甲山高校	保健体育	
教諭	鄭三聖	県立尼崎工業高校	数 学	
教諭	河野玲子	県立川西明峰高校	英 語	
教諭	嶋田博昭	県立西宮今津高校	地歴公民	
教諭	末次信明	新採用	理 科	
教諭	今安智之	県立東灘高校	保健体育	
教諭	安達真理香	育休復帰	地歴公民	
教諭	永吉真	県立洲本実業高校	地歴公民	
教諭	澤田真一	県立尼崎西高校	数 学	
教諭	安田信一	県立篠山鳳鳴高校	数 学	
教諭	杵淵滋子	県立国際高校	保健体育	
教諭	大澤慎也	県立武庫荘総合高校	英 語	
教諭	中島陽子	県立有馬高校	家 庭	
教諭	景山嘉祐	県立三田祥雲館高校	理 科	
教諭	福本友貴	県立有馬高校-定	保健体育	
教諭	中安真敏	県立国際高校	英 語	
教諭	難波滋	県立尼崎稲園高校	理 科	
教諭	大嶋ルリ子	県立川西北陵高校	英 語	
教諭	奥村久志	県立大附属高校	地歴公民	
教諭	細谷知也	初任 市立篠山養護学校 教諭	数 学	
教諭	河合真二	新採用	保健体育	
教諭	菊谷佳奈	県立宝塚東高校	国 語	
事務長	水谷弥生	県立西宮南高校		
主査	石田美栄子	県立宝塚北高校		
事務職員	藤井智嗣	新採用		

尼崎小田高校同窓会 会計報告

収 入 の 部	平成25年度	平成26年度	平成27年度
同 窓 会 費	1,488,000	1,572,000	1,638,000
普通預金利息等	910	910	1,460
定期預金利息等		2,234	2,234
前年度繰越(普通口座預金)	6,380,714	6,170,518	7,079,798
合 計	7,869,624	7,745,662	8,721,492

支 出 の 部	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備 考
部活動激励金	90,000	5,000	20,000	部活動活動報告参照
同 窓 会 補 助	60,000	60,000		
学 校 補 助	357,840	500,000	500,000	H25 テント代 H26,27 耐震工事に伴う 外部施設使用費
ホームページ更新料	100,840	100,864	101,080	
同窓会報発行料	1,090,456			
合 計	1,699,136	665,864	621,080	



事務局より

■ 県立学校環境充実プロジェクトによる寄附へのご協力について

上記の題のように本校では新設された看護医療・健康類型の生徒中心に様々なボランティア活動を行っています。しかし、その活動費用が足りなく、このような寄附という形で同窓会としても支援していただければと思っております。詳細は同封の用紙を確認していただき、多くの同窓生に寄附のご協力をお願いいたします。

■ 住所変更等連絡について

転居等で住所が変更された場合、お手数ですが、本校同窓会事務局までご連絡ください。

次回の会報よりそちらに送付させていただきます。尚、他の同窓生についても、ご存じの方はご連絡いただければ幸いです。

■ 同窓会開催について

各学年で同窓会を開催される場合、同窓会より運営費補助として3万円補助いたしますので、事務局までご連絡ください。ただし、次回の会報に紹介しますのでお写真とコメントはご依頼いたします。(クラスでの開催はご遠慮ください)

編集後記

今号は、事務局の小田高校教員が西村先生(10期生)から難波先生(10期生)に代わり、最初の会報です。小田高校の現状についてよくわかる会報になったのではないかと思います。

さて、前号でも触れましたが、小田高校は、学区の再編の中、新たな取り組みを進め、着実に発展を遂げています。同窓会としても、更に寄与すべく、学校への支援等について役員会や事務局で検討しているところです。

また、今号では同期会の紹介ができませんでしたが、同窓会員の親睦を深める学年単位の同窓会懇親会への補助金も継続していますので、開催される場合は事務局へご連絡ください。

ところで、小田高校も今年で創立45年となります。40周年は式典は行いませんでしたが、50周年は盛大な式典になることが予想されます。この記念式典を見据え、学校やPTAと共に、同窓会でも準備に取り掛かりつつあります。次号では、記念式典に向けた取り組みと、協力依頼をさせていただくことになるかと思います。

小田高同窓会と小田高校の今後益々の発展のために、同窓会員の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。